

京都府文化力による未来づくり基本計画の評価指標設定の考え方

1 文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合

基準値						目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)	2023年(度)
57.8%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%

【数値の出所】京都府総合計画No.47(公表済)。毎年3月に文化スポーツ部が実施している「京都府文化施策に関する府民意識調査」より。

【目標値の考え方】毎年70%を目指す。同内容の内閣府調査(H28)では59.2%、京都市調査(H23)は86.7%となっていることから、その中間値を目標とする。

2 府内のアートフェア等に参加する若手アーティスト(40歳以下)の数

基準値						目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)	2023年(度)
108人	120人	130人	140人	150人	160人	160人

【数値の出所】京都府総合計画No.45(公表済)。京都府が主催するアーティストフェアや Kyoto Art for Tomorrow、京都 Re-search への参加アーティスト数(京都府調べ)。

【目標値の考え方】基準年の数値から5年間で1.5倍増を目指す。

3 府内の障害者のうち、文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合

【数値の出所】京都府健康福祉部が3年に一度実施している「京都府障害者福祉に関する調査」より。(次回調査は令和2年8月予定)

【目標値の考え方】次回調査から新たな調査項目を追加することとしており、目標値はその結果を受けて、改めて設定する。

4 地域の芸能や祭りに参加している人の割合

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
8.2%	9.0%	10.0%	12.0%	14.0%	16.0%

【数値の出所】毎年3月に実施している「京都府文化施策に関する府民意識調査」より。

【目標値の考え方】基準年の数値から5年後に倍増させることを目指す。

5 将来の指定文化財となり得る京都府指定登録暫定文化財の件数（累計）

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
1,149件	1,220件	1,310件	1,400件	1,490件	1,580件

【数値の出所】京都府教育庁指導部文化財保護課による登録実績より。

【目標値の考え方】毎年度90件の登録（2019年度は77件）を目指す。

6 社寺等の文化財を会場とした、府が関わるイベント等の開催数

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
146件	180件	210件	240件	270件	300件

【数値の出所】社寺等の文化財を会場とした府関連のイベント数（京都府調べ）。

【目標値の考え方】毎年事例を増やし、5年間で倍増を目指す。

7 京都経済センターオープン・イノベーション・カフェ (KOIN) 等における、文化・地域資源を活用した創業支援イベントの割合

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
—%	20.7%	22.0%	24.0%	26.0%	30.0%

【数値の出所】京都経済センターのオープン・イノベーション・カフェ (KOIN) 等で実施される創業支援イベント等に占める、文化・地域資源 (アート思考、工芸・伝統的素材等) を活用したセミナー等の割合。2019年度から事業開始しているため、2018年度基準値はなし。2019年度実績は2月時点で全87回中18回 (20.7%)。

【目標値の考え方】文化スポーツ部が講師候補となる文化関連の専門家を紹介するなど、働きかけを続けることで、初年度の1.5倍となる全体の3割を目指す。

8 京都府内各地域の文化的な環境に対する満足度の差の解消

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
14.0%	13.0%	12.0%	11.0%	9.0%	7.0%

【数値の出所】毎年3月に実施している「京都府文化施策に関する府民意識調査」より。

【目標値の考え方】基準値となる2018年度調査結果から、京都市 (68.3%) と京都市以外の地域 (54.3%) との満足度の差の縮減を目指す。差が5年後に基準年から半減することを目指す。

9 府が関わる文化イベントにおける当該地域外からの誘客割合

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
52.2%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%

【数値の出所】京都府文化スポーツ部の事業 (京都府が主催するアーティストフェアや KYOTO KOUGEI WEEK、時代劇フェスティバル、大京都 in 福知山等) 実施時の参加者アンケートより (京都府調べ)。

【目標値の考え方】交流人口の拡大に向けて、地域外からの誘客割合が毎年6割となることを目指す。

10 京都府内の文化芸術産業の経済規模（文化GDP）

【数値の出所】京都府政策企画部による「府民経済計算」を活用し、国と同様の考え方により算出。ただし、算出方法については国が現在も検討中。

【目標値の考え方】国データに準拠して設定予定。

（参考）国の文化GDP目標値：約5兆円（2011年総GDPの1.2%）

→ 約18兆円（2025年の総GDP目標600兆円の3%）

2016年度京都府内総生産：10兆4,876億円

なお、国が検討中の暫定案におけるコア文化領域は以下の通り。

- ・文化遺産・自然遺産（ミュージアム）
- ・パフォーマンスアート（興行、楽器、音楽ソフト、音楽配信、劇場、踊り、ダンス等）
- ・アート、工芸（作家からの購入、和紙、陶磁器、装身具、美術グッズ、写真等）
- ・著作、出版／報道（書籍、雑誌、新聞、図書館等）
- ・オーディオジュアル（映画、テレビ、ラジオ、ビデオ、動画配信、ゲームソフト等）
- ・デザイン、クリエイティブサービス（ファッション、グラフィック、インテリア等）

11 府が実施するアートフェア等における販売額

基準値						目標値
2018年（度）	2019年（度）	2020年（度）	2021年（度）	2022年（度）	2023年（度）	
2,515万円	3,500万円	16,500万円	21,000万円	25,500万円	33,000万円	

【数値の出所】京都府総合計画No.46（公表済）。基準値は京都府が主催するアーティストフェアにおける販売額（京都府調べ）。

【目標値の考え方】アーティストフェアやKOUGEI NOW等を本格開催する2020年の販売目標額をスタートラインとして、2023年に倍増することを目指す。

12 国内外の政府・自治体等が後援等支援する府外のイベント等における京都の文化発信件数

【数値の出所】国内外の政府・自治体等が後援等支援する府外のイベント等における京都の文化発信ののべ件数（京都府調べ）。

【目標値の考え方】目標値は調査結果を受けて、改めて設定する。

12 関西のテレビメディアが取り上げた京都情報の発信件数

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
1,302件	1,450件	1,600件	1,750件	1,900件	2,000件

【数値の出所】テレビメディアが取り上げた京都の話題（事件・事故を除く）の発信のべ件数（京都府調べ）。

【目標値の考え方】基準年から5年間で1.5倍の発信を目指す。

13 文化発信を行った、京都府内開催の学会・国際会議の件数

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
367件	384件	401件	418件	435件	450件

【数値の出所】京都府総合計画No.58（公表済）。京都府観光総合戦略のKPIとしても設定されている。（公財）京都文化交流コンベンションビューローによる実情把握より。

【目標値の考え方】学会や国際会議におけるエクスカージョンや文化体験の充実を図り、毎年約17件の増加を目標とする。

14 京都府では歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合

基準値					目標値
2018年(度)	2019年(度)	2020年(度)	2021年(度)	2022年(度)	2023年(度)
84.9%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%

【数値の出所】京都府総合計画No.48（公表済）。毎年6月に京都府政策企画部が実施している「京都府民の意識調査」より。

【目標値の考え方】過去から80%以上を記録し続けていることから、毎年90%となることを目指す。